

あなたが好きな狛江を、世界の笑顔と一緒にいつまでも。

あなたが思う狛江の魅力は なんですか？

突然ですが、あなたが思う「狛江のいいところ」はどこでしょう？少しだけ考えてみてください。

「多摩川や野川など、身近に自然が多いところですよ！」「都心から近いのに、静かで住みやすいところが気に入っています」「地域のつながりが深く、安心して暮らせるところが好きです」などなど、いろいろな声が聞こえてきます。

魅力がいっぱいの狛江。

そんな狛江の魅力を守りながら、誰もが笑顔で暮らせる、もっともっと素敵なまちにして、次の世代、またその次の世代へとつなげていきたいと思いませんか？
きれいな多摩川で元気に遊ぶ子どもたちの笑顔。いつまでも残していきたいですね。

ところが私たちは今、そのための大きなターニングポイントにいることを知っていますか？
このままでは、私たちが好きな狛江の魅力を次の世代に残すことができないかもしれません。そんな危機が実は間近に迫ってきているのです。

エス・ディー・ジーズ

SDGs



世界の誰もが自分の好きな まちを守りたい。でも現実はい...

「自分のまちの魅力を守りながら、誰もが笑顔で暮らせるまちとしていつまでも残していきたい」その想いは、世界共通です。

しかしその一方で、地球温暖化の進行や気候変動、自然破壊、大気・海洋汚染、また国や地域によっては差別や貧困、紛争等の問題が深刻化しており、このままでは、次の世代はあきらめず自分たちすらも安心して暮らすことができなくなります。今、世界中がその危機に直面しているのです。

もちろん私たちの暮らすこの狛江も例外ではなく、平和な日本にあっても、気候変動をはじめ、将来を考えたときに不安に思うことが少なくないのではないのでしょうか。

このような危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、今の世界を持続的に発展させていくための具体的な目標を作りました。

それが「持続可能な開発目標」

通称 **“SDGs”**※
(エス・ディー・ジーズ)です。

※Sustainable Development Goalsの頭文字をとったもの



世界各地に大きな被害をもたらしている気候変動。着実に進む地球温暖化による影響が大きいといわれています。

SDGsとは 狛江や世界を守り発展させていくカギ

SDGsは、平成27(2015)年に国連サミットで採択された国際目標です。2030年度までに「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現をめざすもので、「17のゴール(目標)」と「169のターゲット」からなります。
貧困、飢餓、差別、教育といった問題から、エネルギー、経済、気候変動、自然資源に至るまで、現代社会を取り巻く世界中の課題が包括的に掲げられていることが特徴で、その達成には先進国、途上国問わず世界一丸となって取り組む必要があります。

「17のゴール(目標)」には、上の図のような印象的なアイコンがあり、あなたもどこかで目にしたことがあるのではないのでしょうか？
これまで見てきたとおり、人々の安心できる暮らしを脅かす問題が今、世界中で起きています。
私たちが暮らすこの日本や狛江も例外ではなく、私たちや次の世代を担う子どもたちが、これからも住みなれたまちで幸せに暮らしていくためには、SDGsで掲げる幅広い課題を解決していくことが避けては通れない状況にあるのです。

「世界の目標」と聞くと、自分との関わりを実感しにくいかもしれません。しかし、日本、狛江の未来にも直結すること、そして、目標の達成に向けて私たちにできることが数多くあることを忘れてはいけません。
何より大事なことは、私たち一人ひとりがSDGsを「自分ごと」として受け止め、その解決に向けた行動を考え、生活の中で実践していくことです。

あなたが好きな狛江を、世界の笑顔と一緒に守り、残していく。その気持ちを忘れずに。

SDGsは、
環境に関する目標が
たくさん！

全部で17あるSDGsの目標のうち、環境保全分野が大きく関わるものは、実に半数以上にのぼります。
狛江市を、世界をより良い形で残していくために、私たち一人ひとりが環境を守るために行動していくことが大切です。



すべての人が公平に質の高い教育を受けられることができ、生涯を通じて学習できる機会を促進させます。



すべての人の手に、安価で信頼できる近代的エネルギー(再生可能エネルギーなど)を届けます。



さまざまな都市問題に対応し、誰もが安全・快適に住むことができる持続可能な都市を実現します。



過剰な生産活動等の見直しや資源循環を推進し、限りある資源を有効活用した持続的な生産消費形態を確保します。



気候変動やその影響を軽減するために、地球温暖化につながる温室効果ガスの削減や災害・健康被害への具体的対策を進めます。



海洋汚染の予防・改善などにより、海洋の生態系や資源を保全し、持続可能な形で有効的に利用します。



陸の生態系の保護・回復・持続可能な利用と持続可能な森林の管理、砂漠化への対処等に加え、生物多様性の損失を阻止します。